

郵便番号

住所1
住所2

日本 太郎 様

000000

00000000#

〒108-8345
東京都港区三田2丁目15番45号

慶應義塾健康保険組合

TEL:03-5427-1525
FAX:03-5427-1521

ジェネリック医薬品についてのお知らせです

平成29年12月から6ヶ月間で処方されたお薬を、

ジェネリック医薬品に切り替えた場合、窓口で支払うお薬代は、

少なくとも

1,604円

安くなる可能性があります。

このお知らせは、厚生労働省の方針に基づきジェネリック医薬品に切り替えることにより、窓口で支払うお薬代の軽減が見込まれる方を対象にお送りしております。

ジェネリック医薬品の使用促進にご協力をお願いいたします。



ジェネリック医薬品とは

ジェネリック医薬品(後発医薬品)とは、先発医薬品(新薬)の特許が切れた後に製造・販売される医薬品です。新薬と同じ成分を含み、効能・効果が同等の医薬品のことです。

1 個人負担が軽くなります

特許が切れた後に製造販売されるお薬のため、お薬代はこれまでの5割程度、中にはそれ以上安くなるものもあります。



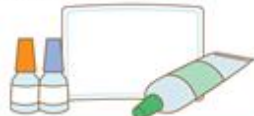
2 国の厳しい審査をクリアしています

先発医薬品と有効成分が同じであり、同等の効き目、安全性があることが国により厳しく審査されています。



3 いろいろなお薬があります

目薬、ぬり薬、シップ薬なども揃っています。飲み薬でも、味や飲み易さが改良されたものもあります。



みなさまのお薬代は？

慶應義塾健康保険組合の平成29年12月～平成30年5月の6ヶ月間で使用されたお薬代は約**2億4,000万円**でした。ジェネリック医薬品を使用することでこの金額が約**3,100万円**も削減できます。これは皆様のご負担額で約**910万円**に相当します。

ご自身の医療費はもちろん、日本の医療費も減らせます。



上記の通り、ジェネリック医薬品を利用すると、健康保険組合全体の医療費も削減することができます。これは保険料の上昇を抑えることにつながり、結果としてみなさまの家計の負担をさらに軽くすることにつながります。



こんなに違うお薬代!?

ジェネリック医薬品に切り替えた場合の1年間分の差額

| | 1年間のお薬代 | | 差額 |
|-------|---------|-----------|---------|
| | 先発薬品 | ジェネリック医薬品 | |
| 糖尿病 | 26,300円 | 13,100円 | 13,200円 |
| 高血圧症 | 24,100円 | 6,600円 | 17,500円 |
| アレルギー | 19,700円 | 4,400円 | 15,300円 |

※自己負担額(3割)です。上記は一例です。病気の症状、医薬品の使用状況により異なります。

ジェネリック医薬品に切り替えるには



かかりつけの医師や薬剤師に相談しましょう

○ジェネリック医薬品の品質・有効性・安全性等に関するお問い合わせ先

- ・独立行政法人 医薬品医療機器総合機構(PMDA) 医薬品・医療機器相談室 くりり相談 ☎03-3506-9457 平日9:00～17:00
- ・日本ジェネリック医薬品・バイオシミラー学会ホームページ「かんじゃさんの薬箱」 <http://www.generic.gr.jp/>

処方されたお薬(先発医薬品)の明細は裏面をご覧ください